

公益財団法人 野村財団
第12期 事業報告書

2021年4月 1日から
2022年3月31日まで

I. 概況

当財団は、社会科学分野の学術研究・教育活動に対する助成、外国人留学生に対する奨学金の給付、世界経済に関する研究・研究会議の開催・研究成果の刊行、芸術文化の国際交流活動に対する助成及び若手芸術家の育成活動に対する助成を行うことなどにより、我が国の学術研究、世界経済及び芸術文化の発展に寄与し、国際的な人材の育成と国際相互理解の促進に資することを事業目的としています。

当年度は、第12期事業計画に従い事業を行いました。前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響が発生しております。

社会科学助成事業については、研究プロジェクト、日本の研究者の海外派遣、奨学研究員、客員研究員及び研究設備に関する助成を実施しました。

外国人留学生奨学事業については、日本の大学の大学院に在学し、社会科学又は人文科学の修学を目的とする外国人留学生に対する奨学金の給付を行いました。

世界経済調査研究事業については、世界経済の動向に関する研究会議及び世界の資本市場の最新動向に関する研究会議の開催を中止といたしました。このうち、世界経済の動向に関する研究会議については研究委託した機関より提出された論文を財団ホームページに掲載しました。また開催延期が続くアジア資本市場研究会議については、準備資金取扱規程を3月の理事会・評議員会にて改正し、2022年度（第13期）及び2025年度（第16期）の開催に延期といたしました。

芸術文化助成事業については、美術部門および音楽部門の公募助成の他、新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成、敦煌研究院研究者の受入事業に対する助成を行いました。

財務面では、基本財産運用益は2億7,423万円で、基本財産の運用利回りは年率2.61%でした。事業費2億5,288万円、管理費1,568万円を合わせた経常費用は2億6,857万円で、当期経常増減額と当期一般正味財産増減額はともに966万円でした。基本財産期末残高は104億9,793万円、指定正味財産期末残高は102億100万円、一般正味財産期末残高は7億4,423万円でした。この結果、財務三原則の内、遊休財産額が8,594万円超過となりましたが、第13期に予算通り事業を行うことで解消できる見込みとなっております。

II. 各事業の実施状況

1. 社会科学助成事業

(1) 研究助成：研究プロジェクトに対する助成

助成件数：27件（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 8件、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成 3件）

助成額：3,365万円（うち金融・証券のフロンティアを拓く研究助成 1,350万円、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成900万円）

(2) 国際交流助成：日本の研究者の海外派遣及び海外在住研究者の日本への招聘に対する助成

助成件数：3件（①派遣3件、②招聘0件）

助成額：230万円（①派遣230万円、②招聘0万円）

(3) 講演会等助成：講演会・研究会議等に対する助成

助成件数：0件 <辞退1件>

助成額：0万円

(4) 奨学研究員助成：東京大学大学院法学政治学研究科及び同経済学研究科附属日本経済国際共同研究センターの奨学研究員制度に対する助成

助成件数：2件

- 助成額：350万円
- (5) 客員研究員助成：東京大学大学院経済学研究科に対する助成
助成件数：1件
助成額：50万円
- (6) 研究設備助成：図書、設備備品、特別講義の開設準備等の経費に関する助成
助成件数：2件
助成額：3,100万円

2. 外国人留学生奨学事業

日本の大学の大学院に在学し、社会科学または人文科学の修学を目的とする外国人留学生のうち、留学生活上、経済的援助を必要とすると認められ、学業成績が優秀な者に対し2020年度生、2021年度生について一人月額20万円の奨学金の給付を行いました。

対象者：20名（2020年度生10名、2021年度生10名）

助成総額：4,680万円

3. 世界経済調査研究事業

- (1) 世界経済の動向に関する研究会議の開催
会議開催中止。研究委託先より提出された論文を財団ホームページに掲載。
テーマ「COVID-19下及びその後の世界経済」
- (2) 世界の資本市場の最新動向に関する研究会議の開催
会議開催中止。
- (3) アジア資本市場研究会議
第1回目の会議開催を2022年度（第13期）へ延期。
- (4) 出版
Nomura Journal of Asian Capital Markets の刊行（2021年8月31日及び2022年2月28日）
国会図書館、全国の大学図書館などに寄贈。
- (5) ホームページでの調査研究成果等の公表
刊行物（Nomura Journal of Asian Capital Markets）のコンテンツ

4. 芸術文化助成事業

- (1) 美術公募助成
若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成を行いました。
助成件数：70件（①団体37件、②個人33件）、＜辞退5件、延期3件＞
助成額：2,536万円
- (2) 音楽公募助成
若手芸術家の育成を目的とする活動及び芸術文化の国際交流を目的とする活動等に対する助成を行いました。
助成件数：86件（①団体42件、②個人44件）、＜辞退4件、延期3件＞
助成額：2,678万円
- (3) 新人美術家顕彰事業（野村美術賞）に対する助成
東京藝術大学大学院美術研究科博士課程の大学院生を対象として、特に優秀な作品を選定して買い上げ同大学美術館で保存する顕彰事業「野村美術賞」に対する助成を行いました。
助成額：300万円
- (4) 敦煌研究院研究者受入事業に対する助成
助成額：100万円

Ⅲ. 評議員会・理事会・選考委員会開催状況

評議員会

開催日	会議名	議 案	結果
2021年6月8日	第32回臨時評議員会	・ 評議員及び理事の選任 ・ 議事録署名人選定	承認可決
2021年6月23日	第33回定時評議員会 (決議・報告の省略)	・ 2020年度決算書類 ・ 2020年度事業報告（報告事項）	承認可決
2021年6月30日	第34回臨時評議員会 (決議の省略)	・ 評議員長の選定	承認可決
2022年3月9日	第35回臨時評議員会	・ アジア資本市場研究会議準備資金の資金計画 変更 ・ 議事録署名人選定	承認可決

（注）決議及び報告の省略については、評議員全員から書面による同意の意思表示を得たため、評議員会の決議ないしは報告があったものと見なしました。

理事会

開催日	会議名	議 案	結果
2021年5月21日	第54回臨時理事会 (決議の省略)	・ 第32回（臨時）評議員会招集	承認可決
2021年5月31日	第55回臨時理事会 (決議の省略)	・ 第32回（臨時）評議員会招集 （オンライン開催への変更）	承認可決
2021年6月8日	第56回定時理事会	・ 2020年度事業報告 ・ 2020年度決算書類 ・ 基本財産及び積立資産取扱規程の改正 ・ 選考委員の選任 ・ 決議及び報告の省略の方法による評議員会招集 ・ 代表理事の職務執行状況（報告事項）	承認可決
2021年6月30日	第57回臨時理事会 (決議の省略)	・ 代表理事兼理事長の選定	承認可決
2021年8月2日	第58回臨時理事会 (決議の省略)	・ 基本財産及び積立資産取扱規程の改正	承認可決
2021年9月9日	第59回臨時理事会 (決議の省略)	・ 選考委員の選任	承認可決
2022年2月16日	第60回臨時理事会 (決議の省略)	・ 第35回臨時評議員会招集	承認可決
2022年3月9日	第61回定時理事会	・ 2022年度事業計画 ・ 2022年度収支予算 ・ 選考委員の選任 ・ アジア資本市場研究会議準備資金取扱規程改正 ・ 財団規程改正 ・ 代表理事の職務執行状況（報告事項）	承認可決

（注）決議の省略については、理事全員から書面による同意の意思表示が得られ、監事全員に書面により異議がないことを確認したため、理事会の決議があったものと見なしました。

選考委員会社会科学助成部会

開催日	会議名	議 案	結果
2021年9月8日	2021年度下期選考委員会	・2021年度下期国際交流助成、講演会等助成、女性が輝く社会の実現をテーマにした研究助成等の助成の予算配分と助成額 ・議事録署名人の選定	承認可決
2022年1月26日	2022年度上期選考委員会	・2022年度上期研究助成、国際交流助成、講演会等助成の予算配分と助成額 ・2017年度、2018年度、2019年度、2020年度、2021年度採択の金融・証券のフロンティアを拓く研究助成の継続 ・2022年度非公募助成の助成額 ・議事録署名人の選定	承認可決

選考委員会外国人留学生奨学部会

開催日	会議名	議 案	結果
2021年12月22日	2022年度選考委員会	・2022年度外国人奨学生の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決

選考委員会芸術文化助成部会

開催日	会議名	議 案	結果
2021年8月3日	2021年度下期選考委員会	・2021年度下期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決
2022年2月7日	2022年度上期選考委員会	・2022年度上期の芸術文化助成案件の選考 ・議事録署名人の選定	承認可決

以 上